

巻頭言

「ネット理事

杉臣 武 (幸町出身)



値上げ上等夏の陣

根が単純な性格なので他人の言うことに簡単に乗ってしまうことが多かったが、昨年の地震と原発騒ぎ以来どうも疑い深くたって来た。庶民の情報源が新聞とNHKしかなかった昔と違って、今はパソコンの前に座ってキーボードを叩けば世界中から瞬時に情報が入ってくる。インターネットの情報は社会的な地位や立場を問わない。現役バリバリの切れ者だろぅがボケが気になる後期高齢者だろぅが、好奇心のおもむくままにキーを打つとんでもない情報が入って来てひそかに優越感に浸ることがある。愕然としてコピーをこぼすこともある。情報は好奇心と暇のある人に集まってくる。一日あくせく働いて家に帰れば一杯飲んでボタンキューのエリートサラリーマンの方が肝心の情報から遮断されていることが多いのではあるまいか。地震発生直後にライブカメラが捉えた一号炉の水素爆発、三号炉の核爆発はNHKよりも海外の報道の方が早かった。政府

や東電が日本人向けに報道管制を敷いていたからではなからうか。それ以来僕は日本国内で流される公のニュースが信用できないと情けないことである。二ユースが信用できないとは情けないことである。

去年四月アメリカの「フェアウインズ」というエネルギー教育サイトで三号炉の解説をしていると教えてくれた人がいた。アーニー・ガンダーソンという人が解説していて、ビデオ画面には三号炉が閃光に続いて大爆発を起こし黒煙が上空高く吹き上がる様子が写っていた。「これは衝撃波が音速を超える爆発 (detonation) で音速以下の爆発 (deflagration) と区別される。燃料棒の破片があちこちに飛び散り、粒子ウランがハワイ、西海岸はおろかニュー・イングランドでも観測されたのが核爆発の証拠だ」云々。今年四月震災一周年ということで内外のメディアが来日して特集を組んでいたが、ドイツのテレビ局ZDFが四号炉の現場取材したルポを流していたのを見てびっくりした。日本で四号炉が週刊誌などの話題になるのは五月に入ってからである。多分この映像を見て驚いたからではなからうか。ドイツ

人のチームは外人と分らないように特大のマスクをつけて白の作業服に身を包み、日本人の技術会社社長の車に便乗して現場に乗り込んで東電の責任者にインタビュしていた。こんな強引な取材は日本人にはできない。一蹴されて引き返すのがオチである。

原発については分らないことが多すぎる。そこへ今度は低電圧利用者への料金値上げの要請だ。

「火力発電の燃料費等の大幅な増加により…」と言うが本当か。廃炉が決まって資産価値がなくなれば銀行も融資してくれない。儲からない事業に莫大な資金を投じなくてはならぬ。各社で値上げ申請が続くのではないか。でも考えて見れば一部の慎重居士を除けば、僕らみんな鉄腕アトム以来原子力の未来を信じ原発に頼って過剰な消費生活を楽しんできたのだ。一種の共犯者でもある。だからこの夏は極力節電に励んで必要な所に電気をまわし、原発なしでも暮らせることの証明を国民的課題にすればいい。オール電化を勧める業者に「エネルギー源の分散が僕の哲学」と断って来たのが役にたった。娘もその気になってDIY店からいろんな武器を集めてきた。設置十年の太陽熱温水器も「まだまだお役にたちますぜ」と張り切っている。我が家の夏の陣がこれから始まる。